

住環境アクセシビリティ評価指標の実施可能性の検証 (調査名:住まいのアクセシビリティに関する調査)

研究の概要

- 「住環境アクセシビリティ」とは、「住まいにおいて、個人が目的の所に行ったり、物を使うことを住環境が促進/阻害する程度」です。
- 住宅のアクセシビリティが良好であると、より良い生活ができることが期待できますが、日本では住環境アクセシビリティを測る指標がありませんでした。
- 本研究では、現在開発中の住環境アクセシビリティ評価指標が、実際に日本の住宅で使えるのかを検証することを目的としています。

調査方法

- 調査の対象者は、戸建て住宅に住む65歳以上の方としています。
(調査対象者の募集は、大田区シルバー人材センターを介して行っており、本ウェブサイトでは受け付けておりません。)
- 調査内容は、アンケート、住環境評価です。住環境評価では、作業療法士または理学療法士の評価者がご自宅にお伺いし、住環境アクセシビリティ評価指標の項目について評価を行います。
- 本研究は、ダイヤ高齢社会研究財団倫理審査委員会の承認を得て実施しています(承認番号:A25001)。

スケジュール

2025年7月	8月	9月	10月
対象者説明会		調査期間	

【お問い合わせ先】公益財団法人 ダイヤ高齢社会研究財団

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-34-5

VERDE VISTA 新宿御苑 3F

TEL: 03-5919-3174(月~金:10-16時)

研究担当者:土屋

